

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	高齢者 TAVI 症例におけるレミマゾラム全身麻酔後の呼吸抑制発生率に関する後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	近年、臨床で使用されるようになった静脈麻酔薬のレミマゾラムは、拮抗薬フルマゼニルの併用によってすみやかな麻酔から覚めることができます。しかし、その後に拮抗薬が切れ、再び麻酔がかかってしまう可能性も指摘されており、特に高齢者では呼吸合併症や脳梗塞の発見の遅れが重大な問題となります。TAVI（経カテーテル的大動脈弁置換術）は高齢・重症循環器疾患である患者さんに対して施行される低侵襲手術であります。本研究では、当院でレミマゾラムによる全身麻酔下に TAVI を施行された症例を対象とし、術後呼吸抑制の発生頻度とその関連する因子を明らかにすることを目的としています。研究には患者さんの年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、麻酔情報、術後のバイタルデータ、治療記録などを診療録よりデータ収集して、評価、検討いたします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	18 歳以上の成人で 2023 年 8 月 1 日～2025 年 9 月 29 日に東京慈恵会医科大学附属病院でレミマゾラムによる全身麻酔下に TAVI を施行された方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、麻酔情報、術後のバイタルデータ、治療記録。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座
		氏名	近藤一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 研究責任者：教授 近藤 一郎（こんどう いちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 4040） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。